自治会・町会名		認可地緣団体榎自治会法人		
会長名		武藤照文		
自治会区域		さいたま市浦和区瀬ケ崎1丁目、5丁目		
自治会の特色		榎自治会はさいたま市浦和区、JR北浦和駅の東、約1.5kmの閑静な住宅街にある自治会です。この地域は元々瀬ケ崎神花と呼ばれていましたが、隣接する道祖土小学校の校歌にも歌われている"榎"という古い地名があり、その古き名を継承した由緒正しい自治会です。 榎自治会は53年前の昭和41年12月1日に成立し、現在、約330世帯およそ900人の住民が暮らしております。 榎自治会の最大の特徴は、住宅地の真ん中に、催しのための広場(不動産)と大きな防災倉庫を所有し、そこで、夏祭り、もちつき大会、防災活動等、住民のコミュニケーション活動が長く行われていることでしょう。これらの活動は住民の連携を高め、震災等の災害時対応に有効と考えます。そして、さいたま市の広報等でも紹介されています。 2015年、榎自治会はこの不動産を所有するために法人化し"許可地縁団体 榎自治会法人"となりました。現在、新しい住民の流入もあり、活発な自治会活動が行われています。		
主な自治会活動 内容	1	夏祭り、盆踊り		
		毎年8月中旬から下旬		
		自治会所有広場		
		盆踊り、出店、神輿、山車巡行		
	2	防災訓練		
		毎年11月		
		自治会所有広場		
		消火器訓練、避難訓練、炊き出し訓練、非 常電源による夜間照明・停電対応訓練		
	3	餅つき大会	\$6224	
		毎年1月		
		自治会所有広場		
		餅つき、会食、コミュニケーション 増進		
自治会加入方法		自治会区域内居住者(賃貸者含)は原則加入していただく		
会費		1家族 年間3,600円		
会長から一言		コロナ禍、首都直下地震、豪雨冠水等の災害や、高齢化に対して自治会として地域と連携し、安全・安心なまちづくりを目指しています。		